

【トピック 2 日本地震学会「住民地震セミナー」の開催】

【トピック 2 日本地震学会「住民地震セミナー」の開催】

日本地震学会は、地震発生から 40 日余り経過した 7 月 26 日から 27 日にかけて、宮城県栗原市と岩手県一関市で住民を対象とした「住民地震セミナー」を開催した。栗原市で約 150 名、一関市で約 120 名の参加があった。

日本地震学会における阪神・淡路大震災の反省として、「学会は地震学の研究成果や現状を社会に伝える努力が足りなかった。そのために、地震の科学と社会の間に行き違いが生じている。」というものがあつた。岩手・宮城内陸地震の被災地でも「宮城県沖地震については聞かされていたが、なぜ内陸で起きたのか」「今後も同じような地震が起きるのか」といった不安な思いで被災者が過ごしているとの声を耳にし、研究者が被災地住民に直接説明する形式のセミナーを初めて開催することになった。

(社)日本地震学会 主催

平成 20 年岩手・宮城内陸地震 住民地震セミナー

この地震で「分かっていたこと」「分かったこと」「分からないこと」

＝地震の専門家が、分かる限り、皆さんの疑問に答えます＝

宮城県栗原市会場

日時 7月26日(土) 午後2時から午後4時45分まで

場所 志波姫保健センター「この花さくや姫プラザホール」
〒989-5615 栗原市志波姫沼崎南沖 452

岩手県一関市会場

日時 7月27日(日) 午後2時から4時45分まで

場所 ダイヤモンドパレス 新館
〒021-0041 岩手県一関市赤荻字月町 193-2

両会場ともに、開始30分前に開場いたします。事前申し込みなどは不要です。

プログラム

○第一部 分かっていたこと、分かったこと、分かっていたこと

・説明者
武村 雅之 鹿島建設小堀研究室プリンシパルリサーチャー (東北大出身)
佐藤 比呂志 東京大学地震研究所地震予知研究推進センター教授 (東北大出身)
松澤 暢 東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター教授

○第二部 地震についての疑問・質問コーナー

・答える人
佐藤、松澤、武村
島崎 邦彦 東京大学地震研究所教授 (日本地震学会前会長、地震調査委員会長期評価部会長)
平原 和朗 京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻教授 (日本地震学会会長)
西村 太志 東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻准教授 (火山学)、ほか地震学会関係者

日本地震学会は地震の専門家集団ですが、今回の大きな被害を起こした土砂災害などの専門家はおられません。そのため、国土交通省東北地方整備局など関係機関の皆さんにご協力をいただく予定です。

主催 社団法人 日本地震学会
後援 宮城県、岩手県、内閣府 (防災担当)、文部科学省、気象庁、国土交通省東北地方整備局、日本災害情報学会 (予定含む)
問い合わせ先 (社) 日本地震学会
学会事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷 6-26-12 東京 RS ビル 8F
TEL: 03-5803-9570 FAX: 03-5803-9577

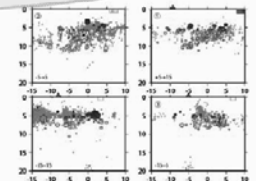
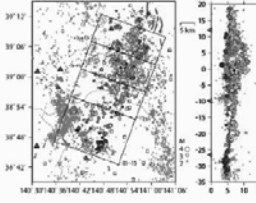





図 2.1 住民地震セミナーを案内する作成チラシ

(参考) 日本地震学会ホームページ